

鎌倉市観光振興推進本部 第1回会議 会議録

日 時：平成19年8月21日(火) 14:00～15:30

会 場：鎌倉市役所 第3分庁舎 講堂

参加者：別紙出欠表のとおり

会議の概要：

市長挨拶、本部員の自己紹介の後、推進本部の本部員の組織や役割などについて概要の説明を行った。役員の選任では、互選の結果、石渡鎌倉市長を本部長に、井手鎌倉市観光協会長、大崎鎌倉商工会議所会頭を副本部長に選出した。

続いて第2期鎌倉市観光基本計画の概要、推進体制全体のスケジュールについて説明・確認を行った。個別検討部会の検討・設置について審議を行い、6つの部会が設置されることとなった。

議事の概要：

1. 市長あいさつ
2. 委員自己紹介
3. 審議事項
 - (1) 役員の選任
 - (2) 事業計画について
4. その他

市民経済部長：

お待たせしました。定刻になりましたので、鎌倉市観光振興推進本部第1回会議を始めさせていただきます。会議へのご欠席の連絡を4名様からいただいております。本日の会議の委員総数は28名で、定数に達していることをご報告いたします。

今日は第1回目の会議であるため、マスコミの取材が入っておりますのでご了承ください。また本会議は公開を原則としております。次回から傍聴者を受け入れる予定でおります。

申し遅れましたが、私は市民経済部長の相澤でございます。議長を務める本部長が決まるまでの間の進行をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

さて今日は1回目の会議でございますので、本来ならば市長がお一人ずつ委員を委嘱申し上げるところでございますが、何分大勢でいらっしゃいますので、机の上に委嘱状を置かせていただきました。あしからずご了承ください。

それでは開催に当たりまして、最初に石渡鎌倉市長より一言ごあいさつ申し上げます。

1. 市長あいさつ

市長：

みなさん、こんにちは。本日は大変お暑い中、またご多忙のところ鎌倉市観光振興推進本部第1

回会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

平素より、本市の観光行政にご支援、ご協力を賜っております。この場を借りまして皆様方のご尽力に敬意を表し感謝申し上げます。またこの度、推進本部の本部員としてご就任を賜りまして、重ねてお礼申しあげます。

さて本市では、本年2月に第2期鎌倉市観光基本計画を策定させていただいたところでございます。この計画の基本理念は「住んでよかった、訪れてよかった」まちづくりを目指しており、今後10年の観光振興の指針となる計画となっています。

この計画を実行してまいりますには、行政・事業者・市民等、さまざまな主体が手を取り合いながら、地域が一丸となって観光振興に取り組んでまいりますとともに、計画の進捗状況について評価・検証を行って、次の取組みに反映させていく推進体制を取っています。

鎌倉市観光振興推進本部は、この推進体制全体の中核を担っていただく組織として発足し、本日、皆様方にお集まりいただいた次第でございます。

鎌倉の観光振興の問題は、単に観光の問題にとどまりません。現在の少子高齢化、地方分権が進行する中、今後の鎌倉の発展を考えると、単に観光の問題にとどまらず鎌倉の今後のまちづくりの大きな課題であることは、申すまでもないと思っております。

本市といたしましても、皆様を含め多くの方々と手を携え、鎌倉全体で観光振興の気運がより高まり、鎌倉が今後も多くの人々の心をひきつけるまちであり続けるよう、取り組んでまいりたいと思えます。

本日の会議が、実り多きものとなりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げまして、冒頭、私のごあいさつとさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

2．委員自己紹介

市民経済部長：

ありがとうございました。続きまして、本日お集まりの皆様お一人ずつ事務局からご紹介すべきところでございますが、よろしければ自己紹介の形でお一言ずつ頂戴できたらと思えます。それでは井手観光協会長からお願いいたします。

～ 以下 本部員自己紹介 ～

3．審議事項

(1) 役員の選任

市民経済部長：

どうもありがとうございました。それでは審議事項に入ります。一つ目の役員の選任でございます。審議に先立ちまして、この本部を含めた推進体制の組織、役割について事務局より説明をさせていただきます。

事務局：

観光課長の嶋村でございます。よろしくお願いいたします。

はじめに皆さん方、推進本部の本部員の組織や役割などについて概要をご説明します。お手元に配布してあります推進本部第1回会議資料の1ページをご参照下さい。

観光基本計画の推進体制の全体図であります。黒星印が付いています推進本部は、推進体制の上部組織として、その役割は鎌倉市全体の観光振興に関する意思決定機関としての位置づけとなります。

推進本部の組織や運営につきましては、会議資料3ページをお開きください。推進本部設置要綱の第2条で所掌事務の内容を明記しています。第一に、既にお手元に配布してございます第2期観光基本計画の推進に係る全体的な方針などに関する事項でございます。第二に、各種観光振興事業の連携及び連絡調整に関する事項でございます。

組織は、第3条で、本部員は35名以内とし、本日委嘱を行いました皆さん方の名簿は資料5ページのとおりであります。皆さんの任期は設置要綱第5条のとおり2年間で、本日8月21日から2年間となります。年2回程度の開催を予定いたしております。以下の項目は、資料4ページにわたり記載のとおりであります。

4ページ第9条の個別部会については、審議事項の2番であらためてご説明させていただきます。この設置要綱を受けまして、実際に推進本部が取り扱う主な事業について概要をご説明いたします。配布資料の1ページにお戻りください。

一つ目の取り扱い議事は、体制図の上段右側に左右の白矢印で掲載されています「鎌倉市観光基本計画進行管理委員会」による基本計画の進捗状況の評価結果についての審議であります。この進行管理委員会は本年10月頃の設置を予定していますので、実質の審議は第2回目以降となります。この進行管理委員会の委員長は、後日、当本部会議の本部員として加わることとなります。

二つ目の取り扱い議事は、体制図下段に実線でつないで点線の枠で囲まれています、今後、順次設置の準備が予定されます、黒い菱形の「個別検討部会」と白い菱形の「個別イベント」についての「本部の部会としての設置とその活動内容」についての審議であります。本日の審議事項の2番目で取り扱うこととなります。

また、これら個々の部会の連絡調整は、白い星印の「個別部会連絡会」が担うこととなります。この個別部会連絡会は、いくつかの部会が設置運営された後の、11月頃をめどに設置を予定しています。この個別部会連絡会の代表者は、後日、当本部会議の本部員として加わることとなります。

三つ目の取り扱い議事は、鎌倉市全体の重点取り組み事項などの方針についての審議となります。以上3点が、今後の推進本部での審議事項として取り扱う案件であります。

最後に、本部長及び副本部長の設置について説明いたします。資料3ページの推進本部の設置要綱をご参照ください。第4条において、推進本部に本部長、副本部長を置くことが明記されています。そこで、事務局案といたしましては、資料5ページに既に案として掲載しておりますが、「まちづくり」を総合的に進める市と、「観光」を担う観光協会、「商工業」を担う商工会議所のより一層の連携を図るため、本部長に市長、副本部長に井手観光協会会長と大崎商工会議所会頭を提案させていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

市民経済部長：

ただいま事務局から説明と提案をさせていただきました。本部長、副本部長の役員につきまして、本部長に石渡市長、副本部長に井手観光協会会長と大崎商工会議所会頭の提案をさせていただきます。

したが、いかがでございましょうか。

～本部員より賛成の拍手あり～

ありがとうございます。皆様のご承認を得たようですので、そのような形で選任をさせていただきます。それでは副本部長様、席の移動をよろしくお願いいたします。

では、本部長からあいさつをお願いしたいと思います。

本部長：

ただ今、本部長の就任について、皆様のご了承いただきましてありがとうございます。今後は、井手副本部長、大崎副本部長のご協力をいただきながら当会議を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。会議を始めるにあたって、本部長として一言ごあいさつをさせていただきます。

鎌倉の観光振興は、私共の先人達が様々なご尽力をされ、また様々な角度から取り組みをされてきたこととさせていただきます。

こうして本部会議が設置されましたが、鎌倉で初めてと言ってよろしいのではないのでしょうか、地域の皆様がお集まりになって鎌倉の観光振興について意思決定を行う場が出来たことを大変うれしく思っております。また大変意義深い会議であろうと思っております。今後、観光の振興はもとより、地域の賑わい、地域の経済活性を推進しながら鎌倉のまちづくりを推進しなければならないと考えております。

今後は、既に取り組みを推進しています鎌倉の世界遺産登録事業との連携や観光基盤施設の整備、「観光」と「産業」の結びつき、観光行事の見直し、来訪者や市民の視点に立った楽しめる観光など、新しい時代に沿った観光振興について積極的に取り組み、皆様方のご意見を頂戴しながら進めてまいりたいと思っております。

会議の進行に皆様方のご協力を頂戴するようお願い申し上げまして私の就任のあいさつに替えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

市民経済部長：

ありがとうございます。それでは2人の副本部長からも、合わせてご挨拶をお願いいたします。

副本部長：

副本部長に就任させていただきましてありがとうございます。観光振興推進本部というのは、まさに我々観光協会が望んでいたこととさせていただきます。いろんな角度から皆様のご意見を伺いながら、推進本部を進めて行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

副本部長：

大崎でございます。副本部長という大任を拝任いたしまして、出来る限り一生懸命やらせていただきますので、よろしくお願いいたします。

商工会議所は、商工業、観光業の振興と、よりよいまちづくりをしていくことを主旨としております。そういう意味では、観光業の振興、そしてよりよいまちづくりにつながればという風に考えております。皆様のご意見をいただき、商工会議所に持ち帰って独自にやれることもあるかなと考えております。いろんな意味で支援をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

市民経済部長：

では、以後の議事進行につきましては本部長よろしく申し上げます。

(2) 事業計画について

本部長：

本部長が議長となる旨会則に定められておりますので、暫時所職を執らせていただきます。着席のまま失礼申し上げます。

それでは審議事項の2番、事業計画についてご審議をお願いいたしたいと思います。事務局から説明をお願いします。

事務局：

それでは、審議事項であります事業計画についてお時間をいただきましてご説明いたします。初めに、お手元に配布してあります観光基本計画の冊子に基づきまして、簡単に計画の概要をご説明いたします。

この計画は、4章立てで構成してございます。お手元の計画書の2ページ、第1章の「計画の策定にあたって」では、計画期間を平成18年度から平成27年度までの10年間として、具体的な取り組み事業であるアクションプランにつきましては、5年後の平成22年度に見直しを行って行くこととしています。

6ページの「計画の策定に向けて」では、観光がまちづくりの重要な要素であること、また、今後は、行政・観光事業者・関係団体だけではなく、市民や寺社等の多様な主体が連携して観光振興に取り組む姿勢を共有化していく推進体制を構築していくことが重要であることなどを記載しています。

8ページ、第2章の「基本理念と計画のめざすところ」では、基本理念を、第1期計画を踏襲して「鎌倉の持つ様々な魅力が国民共有の財産であることを認識しながら、『住んでよかった、訪れてよかった』と思えるまちを、市民、観光客と行政がともに育てていく」こととしました。

また9ページでは、基本理念をもとにした5つの基本方針を定め、さらに、10、11ページでは、基本理念を具体化するために、将来像を3つの目標に整理しました。

12ページでは、今回の観光基本計画の特徴の一つとして、観光客の満足度指数や市民意識の向上についての数値目標を掲げるとともに、観光客数については、観光客の満足の質を高める観光客数のマネジメントに取り組んでいくことが重要であることから、あえて数値目標を設定せずに「現状値以上」としております。

15ページ、第3章の「アクションプラン」では、実施主体は行政だけではなく、観光関連団体や事業者などとともに、寺社や生産者、さらには市民が役割分担をして、互いに連携・協力しながら取り組むとしています。

16ページの、その推進・管理は、多様な主体で構成される組織を構築し、PDCAサイクルに沿って推進し、評価・公開していくこととしています。

18ページに入りまして、具体的なアクションプランとして、3つの目標に対して、合計で10項目の取り組みを定め、それぞれの主体が自分たちのできる役割を認識し、分担していくことが大

切であることから、アクションプランの項目ごとに各主体別の取り組みを例示しました。以上が計画の概要であります。

この推進本部は、基本計画推進の全体的な方針と観光振興事業の連携、連絡調整に関する意思決定機関として、既に一部事業がスタートとしています、計画書の18ページから掲載しています、22年度までの10項目のアクションプランを推進する組織であります。具体的な取り組みの推進は、今後、本部会議の下部組織として設置します個別部会が推進していくこととなります。

ここでは、本部員の皆様方には、計画書掲載のアクションプランの構成をご確認いただければと存じます。

次に、本部会議の全体のスケジュールについて、ご説明いたします。

お手元の第1回会議資料の7ページをお開きください。ここでは、推進本部会議を中心とした個別部会を束ねる個別部会連絡会と進行管理委員会のスケジュールについて、平成19年度の議事内容及び20年度以降の流れを掲載しています。19年度は、推進本部は、8月と来年の1月の2回の開催を予定しています。7ページの黒星印の欄の右端の議事内容等では、今回も含めてご審議いただく項目を記載してあります。20年度以降は、それぞれ5月、11月の開催を予定しています。

また、推進本部と連携して、今後設置されます個別部会連絡会と進行管理委員会の開催時期と議事内容は記載のとおりであります。皆様方にはスケジュールをご確認いただきたいと存じます。

次にご審議いただく個別部会の設置についてご説明いたします。

会議資料4ページの設置要綱第9条をご参照ください。個別部会は、個別検討部会と個別イベントの2種類があります。

個別検討部会は、新たな課題を研究・検討するためや既存の観光事業を見直すために推進本部から設置を指示されたものとなります。個別イベントは、文化・観光振興に繋がるイベントに取組み、基本計画の趣旨に賛同する団体で推進本部が承認することとします。個別検討部会の構成は、本部員だけで構成する場合や、本部員以外のメンバーを含めて構成するなど、検討テーマや既に検討を開始している体制や経過などを踏まえまして、柔軟に対応することも可能であると考えます。

部会は、計画を具体的に推進するために大変重要な役割を担います。部会の設置は、準備が整った段階で順次設置を本部会議に位置づけていきたいと考えています。以上で説明を終わります。

本部長：

ありがとうございました。ただいま事務局から説明させていただきました。もう一度私の方からご説明申し上げますと、この場では個別の課題を議論するのではなく、それぞれの課題、テーマごとに部会を設置いたしまして、その中で議論していただくように考えています。それぞれの部会での検討結果をこの本部で報告、承認していただきながら進めていこうという形のやり方をご説明させていただきました。事務局の説明で何かご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、鎌倉全体で取り組んだほうが良いような、あるいは皆さんに共通するもので見直し、検討したほうが良いような行事あるいは課題はありますか。自由にご発言をお願いいたします。

本部員：

鎌倉警察署長からご報告させていただきたいと思います。観光基本計画を読ませていただきました。観光の原点は、地域に住んでいる鎌倉市民が納得しないと、遠くから来る方をなかなかウエル

カムの姿勢で迎えることは出来ないのではないかという風に思っております。その一番根底にあるのは安全であることや安心であることなので、大船警察署とともに出来る限りやっていきたいと思っております。そういう中で、いくつか伺いたいのが、観光地としての道路のあり方でありまして。かなり前から、鎌倉は狭い道と観光客が多く、それに比例して規制が多いです。規制ばかりの道になっており、警察署で規制図を見せてもらおうと、ここにはどうやって行ったらよいのか、というような難解な規制もあります。これをもっとシンプルにしてはどうかというのがまず一つです。それには警察だけではなくて、県、市、色々なところが取り組んでいかなければいけないという風に思います。鎌倉駅前の、4ナンバーは良くて5ナンバーはいけないというのはその典型です。

それから観光行事の警備についてですが、鎌倉は非常に観光行事や祭礼が多いということですが、私は基本的には自主警備をお願いしたいと考えています。やはり自分たちの祭りは自分たちで楽しむ、あるいは自分たちで出来るだけほかの人に迷惑をかけないでやるという風にお願したいということ、宗教行事に警察が制服で入って行くというのはあまりよくないと思っています。ですから大規模な規制を必要とします初詣、鎌倉まつり、花火大会は、私たちも警察本部の力を借りてやっていきますが、それ以外は出来る限り皆さんの中でお力をいただければという風に思います。

3点目は防災についてであります。先般、鎌倉市で災害対策本部が出来まして、休みにもかかわらず市長をトップとして市役所に240名の体制が出来上がりました。鎌倉警察署も全ての署員を召集し、出来る限りのことをいたしまして、市長に鎌倉警察署長が報告に参りました。警察だから市長とは関係ないということではなくて、災害対策本部長は市長でございますので、必ず報告しようではないか、一緒にやろうではないか、ということです。

もう一つは海水浴場の対策です。マリン連盟を始めライフガードの皆さんから協力を得ていますが、海の家の問題、海での盗撮の問題、海の家での暴力行為が増えており、相当取り扱いをしています。また海の家がライブハウス状態となっており、110番の苦情が非常に多い。儲けるのは構わないが、夜中まで騒ぐのは勘弁してもらいたいなと思います。それから花火の騒音、駐車場の苦情も非常に多く、110番の半分以上がこの2点になっています。その度に警察官が現場に行きまして1時間、2時間と時間をとられてしまい、それ以外の空き巣や泥棒に対応できない状況になっています。

それからお願いしたいのが、観光客のマナーアップです。確かに迎えするのはいいですが、観光客の方も相当マナーが悪いということでマナーアップを図っていかねばいけないかなと思います。警察署でもトイレを貸していますが、汚いまま帰る、トイレットペーパーを持って行ってしまふ、ということがあり難儀をしています。ぜひ若宮大路のトイレの問題も解決していただきたいと思います。

いずれにしても、鎌倉から観光を除いたら何も無くなってしまいます。私も鎌倉観光文化検定を受験しまして、鎌倉について色々勉強してまいりますので、ぜひよろしくお願したいと思っております。

本部長：

ありがとうございました。他に何かございますでしょうか。

副本部長：

副本部長というより観光協会として提案させていただきたいと思っております。昨年から観光協会が行っている鎌倉まつり、花火大会、鎌倉薪能について特別プロジェクトを設置しまして検討を行って

まいりました。特に鎌倉まつりと花火大会につきましては、観光協会だけではなくいろいろな角度からみなさんのご意見を伺いたいということもあり、出来ればこの振興推進本部の中での個別部会を設置していただきたいと思います。中でも鎌倉まつりに関しましては、来年がちょうど50回目の節目に当たっておりまして、観光協会としては、市で進めている世界遺産登録を前面に打ち出して、一週間くらい期間を設けてやっていきたいと考えております。また再来年、51回目からの鎌倉まつりについて、みなさん共々何か考えていければよいと考えております。

花火大会ですが、先日も皆様のご協力のもと無事終わりました、本当にありがとうございました。ただこの花火大会は、観光協会が主催して実施するにはあまりにも大きくなっております。1日に27万人の観客が海岸に集まるということで非常に危険な状態となっております。ぜひ花火大会に関しましても個別部会を作っていただいて、鎌倉全域で考えて、実施していければありがたいと考えております。

本部長：

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

本部員：

世界遺産推進登録推進協議会という団体の中で私は広報・啓発を担当しておりますが、おかげさまでここにいらっしゃるメンバーにも参加いただいております。まだまだ誤解を受けていて、世界遺産って何なのとか、世界遺産になってどうなるのかなど、批判的な、あるいは建設的なご意見、疑問など様々ございます。それを解くために私どもは活動しているわけですが、先だって県知事を先頭に、県と3市の推進組織も出来ましたところでございます。

そこでまず観光という視点から一つお願いしたいのですが、先ほど述べた世界遺産に批判的な意見というのは、観光客が増えて困るとか、外国人が増えて困るとかいった色いろんな事例がございます。もちろん誤解はあるのですが、いろいろ考えなければならぬこともあると思います。

県と3市の協議会が出来ましたが、世界遺産の候補地も逗子、横浜にまたがっており、鎌倉を核としながらも周り一体となっていないとだめだろうと思います。交通の問題などもあります。周りに呼びかけて車の規制をすることも必要かもしれません。

また世界遺産登録の世界的な傾向として、指定地のほとんどが宗教的な都市というのがあります。鎌倉も概念としてはそれでよいと思う。神社仏閣の方、一般の方含めて、ただ観光客が増えることを望むのではなく、国際観光都市として少しレベルの高い理念の下、宗教的な聖地として質を高めたいのではないだろうかと思っております。この会議には仏教会の方もお見えですので、世界遺産の寺社を中心とした何かが出来ないだろうか、そんなことを考えています。

それについて色々な方とご相談しながら、国際観光都市として、世界遺産登録を経ても実現されるような鎌倉の観光のあり方についてご支援・ご検討いただければと思います。

本部長：

ありがとうございました。他にございますでしょうか。

本部員：

先ほど警察署長様からもございましたが、我々は海を365日見続けていまして、材木座でウイ

ンドサーフィンのスクールを経営していますが、夏の期間は危険が多いです。一番危険なのが材木座と坂ノ下のジェットスキーで、マナーが悪い人が多い。今年もジェットスキー同士がぶつかって救急車が来ています。何年か前には葉山から無人のジェットスキーが時速60～70キロで由比ガ浜の海の家に突っ込みました。このときはたまたま人がいませんでした。材木座ではウィンドサーフィンやヨットが集まっている中に無人のジェットスキーが突っ込み、ヨットに当たって大破しています。鎌倉マリンスポーツ連盟は警察と一緒にもらってパトロールを行っており、その活動のレベルは非常に評価していただいています。ただそれ以上にマナーの悪い方が多いです。

観光でいいお客さんを海に呼ぼうと思っても、いつ事故があってもおかしくない状況です。

ライフガードや海上保安庁とも連絡を取っているが、市が開設者として、海の家がルールを守らなければ営業の許可を取り下げるぐらいの強い態度でいかなければいけないでしょう。せっかく遠くから来ている方々に、鎌倉は危ないというイメージを持たれるような状況であることを、見ていただきたい。

本部長：

ありがとうございました。他には何か。

先ほど江崎鎌倉警察署長から、災害・防災の話がありましたが、もう少し詳しくお願いできますでしょうか。

本部長：

歴史を勉強してみますと、鎌倉では色々災害が起きています。人がたくさん来ていないから良かったものの、もし同じことが今起きたとすれば、かなりな被害になるだろうということで、観光客がみえている時に災害になった時に、どうやって伝達するか、避難させるかという問題があります。鎌倉市の防災無線で、鎌倉市民はこれを聞いて自主避難しますが、なかなか観光客まで手がまわらない、あるいは伝わらない。ぜひ観光客にも伝わるような、観光客が多数来ているときに早く避難させる方法を考えた方がよいのではないのでしょうか。

副本部長：

切り口をどう切るかという問題ではありますが、商工会議所では、鎌倉というまちとして観光客にどういう風に接しなければいけないのか、どういうレベルを保たねばならないか、どのような犠牲を我々が払わなければならないか、などを踏まえて検討してきています。そんな中、ホスピタリティという一つのくくりの表現で、ホスピタリティ高揚運動という形を進めてきています。

今検討しているのは、観光客の方に、鎌倉にふさわしいおもてなしが出来ているか、ふさわしいと言えるようなみやげ物は売れているだろうかなど、鎌倉のレベルを保つことを考えながらそれだけのホスピタリティを提供できているか、自己犠牲が出来ているかという検討に入っています。

観光客というのは、自分のところにお金・収入をくれる相手という見方も一方ではありますが、その人達に何をすればいいのかという、受け入れる側の問題を深めなければいけないと思っています。

ただ、先ほどビーチの話が出てきましたがそういった状況であることは我々も分からないことですので、大きく分けて問題点別に専門家的なグループを作っていたかかないと感じました。以上です。

本部長：

他に何かございますでしょうか。

大変さまざまな大きな問題をご提案いただけたと考えております。繰り返しますが、検討部会の中でそれぞれ議題として議論していただく訳ですが、副本部長からも話がありましたように、いくつかの部会を作ってやらなければいけないなという思いです。

もう一度繰り返させていただきますと、署長から、一つは道路のあり方についてご提案がありまして、二つ目は警備体制の問題。3番目は災害時等の観光客への対応のご意見。4番目にマリンスポーツ連盟からも話がありましたが、海水浴場をどのようにしていったらよいか。次に観光客全体のマナーアップ。これにつきましてはトイレの話もありましたが、市ではタバコのポイ捨てについても検討中しております。

観光協会の会長から話がありました、鎌倉まつりが50回、花火大会が60回を迎え、これについて見直しを行いたいということでもございました。また、内海様からは国際観光都市としての視点からの議論、商工会議所の会頭からは、理念的に根源に関わる問題だと思っておりますが、ホスピタリティのあり方についてご意見をいただきました。

事務局の方でどのように取り組んでいくか、案はありますか。

事務局：

ありがとうございました。今までのお話をお伺いしまして、やはり検討部会を立ち上げて、ひとつひとつ議論していただきたいと思っております。

お話がありました中で部会が設置可能な分野としますと、観光協会長からお話がありました花火大会を取り扱う部会、鎌倉まつりの部会、内海委員からお話いただきました、国際的な観光都市ということで、「国際」を括りにした部会が3つ目にあるのではないかと思います。それから警察から話がありました、観光客の安全安心に関わる部会が4つ目、あとは海の問題等がありますが、これは平準化しますと、観光客のマナーの問題が浮き彫りにされてくるのではないかと思います。最後に大崎会頭からございました、それら全体を含める話になるかもしれませんが、ホスピタリティという部分の部会、これらが部会に相当する話題としてご披露いただいたものという風に事務局では考えています。

本部長：

ただ今事務局から報告させていただきましたが、鎌倉の大きな行事である鎌倉まつり、花火大会でそれぞれ一つの部会を設置し、また国際的な視点から国際観光のあり方について、安全・安心ということを含めて道路のあり方や災害時のあり方を考えていく点でそれぞれ部会を設置する。そしてまた海水浴場の具体的なご意見もございましたが、観光客のマナーということで一括りにして検討していく、会頭からございましたホスピタリティという問題について全体的な検討する、というような部会を立ち上げるということでもございました。他に何かございますでしょうか。

本部員：

では逆に、海でどのような事が起こっているか統計を持って参りましたので、発表させていただきます。

海の家の組合の規約に、暴力団排除の項目を規定していただいています。ただ名義人と経営者が違っているという状況がありまして、これを何とかしたいと思っております。そうすれば暴力団は排除できるのではないかと。暴力団については排除に向けて努力しておりまして、何か起これば出来るだけ事件化して、事件を起こしたからもうダメということにして行きたいです。

また自主規制については出来るだけ遵守していただくということで6組合長に遵守の指導をしていただいております。今年はかなり強力に実施しました。ただその中で、事前に届出をせずに大音量でのイベントを開催したものが2件、深夜の騒音が4件、腰越の組合長の方から海の家に対して指導していただきました。

ライフガードの協力を得まして、水着の方の胸や股間を明らかに強調して撮っている盗撮、赤外線を使った盗撮を5人検挙しました。女の子に付きまわっている事案を1件、海上保安庁の保安官を名乗り消防施設の中に駐車していたもの1件、これは身分詐称に当たりますが、制服も階級章もあったそうです。また深夜の花火については、7月1日から8月17日まで、35件に警告をいたしました。また鎌倉警察署独自に警告カードを作り、鎌倉市内では夜10時以降花火はしてはいけませんというのを渡したのが23件。マリンスポーツ連盟の方から話がありましたが、8月12日にジェットスキー同士の接触事故がありまして、安全運航の注意をいたしました。8月29日の17時30分からのスーパーJチャンネルの中でこれらの活動の様子が若干放映されます。

今後31日までの集計をしまして、またお願いするところ、やっていくべきところはやっていきたいという風に思っております。

本部長：

ありがとうございました。先ほど私のほうから、鎌倉まつり以下、6部会の設置の提案をさせていただきます。これについてはご承認いただけますでしょうか。

～本部員から承認の拍手あり～

ありがとうございます。そのメンバーについてですが、鎌倉まつりや花火大会については観光協会のほうでいろいろ取組みを始めていただいているようですし、構成メンバーにつきましては、本部長、副本部長に一任していただけますでしょうか。

～本部員から承認の拍手あり～

ありがとうございます。それでは、一任させていただいてメンバーを決めさせていただきたいと思っております。

それでは今後の部会の進め方について事務局からお願いします。

4. その他

事務局：

それでは6つの検討部会につきまして設置が承認されました。部会ごとに今日ご出席の皆様方からご参加をお願いいたしまして、メンバーを構成していきたいと思っておりますが、本部長一任ということで確認されましたので、後日ご連絡させていただきます。それからこの個別部会につきましては、この場だけでなく、他の部会もというご意見がございましたら、事務局の方までお申し出いただければと思います。事務局の方からは以上です。

本部長：

事務局からお話ししましたとおり、この本部で議論すべきテーマやご意見があれば、いつでも事務局にお申し付けいただければ、議論させていただきたいと考えております。審議事項の2、事業計画につきましては以上となりますがよろしゅうございましょうか。

それでは4．その他として、日程について事務局からお願いします。

市民経済部長：

日程の前に、こちらにおります幹事・事務局について紹介いたします。私は市民経済部の相澤でございます。今後本部会議や各部会についても、市と観光協会、商工会議所が一体となって事務局・幹事を勤めさせていただきたいと思っております。それではそれぞれ自己紹介させていただきます。

～ 以下 幹事・事務局自己紹介 ～

事務局：

それでは事務局の方から、次回の本部会議の日程について確認させていただきます。先ほどもご説明させていただきましたが、来年1月の下旬ごろに開催したいと考えております。今回は、今後設置される進行管理委員会の18年度の取組みに対する評価結果の報告、あるいは、個別検討部会での検討結果についてご報告できると考えております。日程調整につきましては、別途年内にご連絡をさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。以上です。

本部長：

ありがとうございました。皆様方には、長時間にわたりましてご審議いただきありがとうございました。これにて終了とさせていただきます。本当にありがとうございました。